

「公益財団法人中島記念国際交流財団助成」
(独) 日本学生支援機構実施留学生地域交流事業

留学生の地域社会ネットワーク構築プログラム in ふくしま
実施報告書

2017年1月

国立大学法人福島大学国際交流センター

目 次

I. 事業の概要について	2
II. 実施プログラムの報告	
1. 留学生の就職支援に関する取り組みについて	
①留学生就職セミナーの開催	3
②N-1対策講座の開講	7
2. インターンシップの実施	
①留学生地域交流事業『留学生インターン実習』	10
3. 地域住民との交流事業、福島自然文化体験ツアーの実施	
①留学生地域交流事業「日本の料理を作ろう」	12
②二本松市、福島大学地域創造支援センターとの共同事業 「二本松菊人形観賞ツアー」	16
③国際ソロプチミスト福島との共同事業 「りんご狩りと日本文化体験ツアー」	20
III. あとがき	24
IV. 本事業の実施にあたり、ご協力いただいた皆様	25
V. マスコミ記事掲載一覧	26

I. 事業の概要について

①事業の目的

本事業は、普段はほとんど触れあうことのない留学生と地域社会・地域住民が、実施プログラムを通してお互いに関心と理解を深め、信頼関係やネットワークが構築されることで、留学生の「福島」への興味と愛着心の促進、そして地域社会にとっては留学生の魅力の発見を促し、将来、お互い手を取り合って福島の発展に貢献していく関係づくりのきっかけとなるべく、実施しました。

本学の留学生は、その多くが卒業後は首都圏に就職するなど、彼らにとって福島はいわば学生生活を過ごすだけの地になっており、さらには在学期間中も大学とアルバイト先と住居を行き来するだけで、福島の魅力についてほとんど気付かないまま福島を去って行く例も多々ありました。また、地域住民の皆様にとっても、市内に留学生が住んでいることがわかっているにも関わらず、接する機会はほとんどなく、外国人と直に触れあうという貴重な機会を逃していたかと思います。

グローバル化が進展する現在の社会において、このような状況は留学生にとっても地域社会にとっても非常にマイナスであると思われます。その状況を克服し、留学生と地域社会双方が信頼関係を深めることで、留学生が福島の発展の一翼を担うことのできる環境が醸成されることが本事業の最終的な到達点となります。

②具体的なプログラム概要

まずは留学生の就職支援を目的とし、現役やOBの留学生を講師に招いた就職セミナーを2回、留学生が就職するにあたっては必須となっている日本語能力試験1級(N-1)の習得に向けた対策講座を16回実施しました。そして、留学生及び地元企業の相互理解の促進のため、夏休みを利用して地元企業での留学生インターンシップを開催しました。さらに、7月に、留学生と地元住民の皆様との交流を目的として留学生地域交流事業『日本の料理を作ろう』を開催し、11月には、地元の皆様との交流に加え、福島の自然や文化の理解促進を目的として『二本松菊人形観賞ツアー』（二本松市及び本学地域創造支援センターとの共同事業）、『りんご狩りと日本文化体験ツアー』（国際ソロプチミスト福島との交流事業）を開催しました。

II. 実施プログラムの報告

1. 留学生の就職支援に関する取り組みについて

①留学生就職セミナーの開催

主に3年生を対象に、留学生就職セミナーを2回開催しました。

(1) 第1回留学生就職セミナー

【実施日】平成28年6月8日(水) 14時45分～16時50分

【場 所】福島大学S-35教室

【講 師】福島駅西口インキュベーションルーム・インキュベーションマネージャー 相馬 由寛 氏
(株)ダブルホーク代表取締役 王 伊鵬 氏

【参加者】留学生 8名(ベトナム6名、中国1名、台湾1名)

【プログラム内容】

第1回セミナーは、「留学生の起業」をテーマに、本学卒業生で現在中小企業診断士として活躍されている相馬由寛氏、同じく本学卒業生で卒業後に自ら会社を立ち上げ、現在も福島で活躍されている王伊鵬氏に、留学生の日本での起業状況、日本で起業するための方法、最低限必要な基礎知識、自らの体験談等について講演いただきました。



【参加者アンケート】

回答者：8名

Q1. 卒業後の進路について、現時点でのあなたの希望を教えてください。

日本で起業	1人
母国で起業	0人
日本企業への就職	6人
母国企業への就職	0人
大学院進学	1人
まだ決まっていない	0人
その他	0人

Q2. セミナーの満足度を教えてください。

大変満足した	1人
満足した	5人
普通	2人
やや不満だ	0人
不満だ	0人

(留学生の意見・感想)

- ・体験談をたくさん聞くことができ参考になった。質問に対しても、納得できるまで答えてくれた。
- ・日本で起業するためのルールがわかった。

Q3. セミナーでは講師や他の参加者と交流できましたか。

大変交流できた	1人
交流できた	6人
普通	1人
あまり交流できなかった	0人
全く交流できなかった	0人

(留学生の意見・感想)

- ・結果的に少人数だったため、楽しく交流することができた。

(2) 第2回留学生就職セミナー

【実施日】平成28年12月14日(水) 14時45分～16時

【場 所】福島大学S-36教室

【講 師】福島大学行政政策学類4年 張 天一 氏

福島大学経済経営学類4年 ヴ クアン ジューフン 氏

【参加者】留学生 7名

(ベトナム4名、中国1名、ブラジル1名、アメリカ1名)

【プログラム内容】

第2回セミナーは、日本企業に既に就職が決定した現4年生の留学生2名を講師に、自らの就職活動の体験談と、内定を勝ち取るために必要なことについて話してもらいました。講師からは、成功事例だけでなく失敗談や内定を勝ち得るための戦略についても話があり、これから本格的に就職活動を行う学生にとって、とても役に立つセミナーとなりました。また、講師のうち1名は福島県内の企業から内定を得た学生であり、4年間福島に住んで様々なことを経験したことで福島に引き続き在住したいという思いが動機となったと話しており、県内企業を希望する留学生にとっては大いに参考となる内容となりました。最後に、就職支援課担当職員から、就職活動を行うにあたっての注意事項等についての説明がありました。



【参加者アンケート】

回答者：7名

Q1. 卒業後の進路について、現時点でのあなたの希望を教えてください。

日本企業への就職	5人
(うち県内企業への就職)	(2人)
母国企業への就職	0人
大学院進学	1人
起業	0人
まだ決まっていない	0人
その他	1人

Q2. セミナーの満足度を教えてください。

大変満足した	5人
満足した	2人
普通	0人
やや不満だ	0人
不満だ	0人

(留学生の意見・感想)

- ・講師から多くのアドバイスをいただいた。
- ・わからないことを全て教えてくれた。

Q3. セミナーでは講師や他の参加者と交流できましたか。

大変交流できた	4人
交流できた	3人
普通	0人
あまり交流できなかった	0人
全く交流できなかった	0人

Q4. その他意見、感想

- ・できれば、4年生全員の話を知りたい。

②N－1 対策講座の開講

留学生が日本企業への就職を目指すにあたり、ほとんどの企業で採用の必須条件となっている日本語能力試験 1 級（N－1）の取得を後押しするため、日本語教育担当特任専門員による対策講座を開講しました。

【実施日】平成 28 年 10 月 3 日（月）～平成 28 年 11 月 30 日（水）
の毎週月曜・水曜の 2 限目

全 16 回	オリエンテーション	： 1 回
	文字・語彙・文法対策	： 7 回
	読 解 対 策	： 6 回
	聴 解 対 策	： 2 回

【参加者】留学生 15 名

（ベトナム 9 名、中国 5 名、ブラジル 1 名）

【場 所】福島大学経済経営学類 1 階グローバル室

【講 師】福島大学国際交流センター特任専門員 永島 恭子

【プログラム内容】

文字・語彙・文法対策では、各受講者に配布したテキストから、毎回事前に指定した範囲の小テストを 4 回実施し、それぞれ解答、解説をおこないました。残りの 3 回は、範囲を指定せず、模擬テストを実施し、解答・解説をおこないました。文字・語彙・文法対策の最終回では、第 1 回目のオリエンテーション時と同じ内容の模擬テストを実施しました。学生の両方の成績を比較すると、いずれも 2～20 点（100 点満点）の成績の向上がみられました。受講した学生からは「小テストは勉強したことをチェックするのはいい方法だと思う。」「覚えるのは大変だったけど、最後までがんばった。」「模擬テストは本番のテストを感じられた。」といったコメントが寄せられました。

読解対策では、①内容理解・主張理解問題、②内容理解（連絡文）・統合理解・主張理解問題に分け、それぞれ 2 回ずつ対策授業を実施しました。具体的には、まず各受講者に配布したテキストを参考に、解き方の一例を示し、宿題として配布した練習問題に各自で取り組ませました。宿題の解答、解説は翌週の授業でおこないました。残り 2 回の授業では、上記①と②をあわせた模擬テストを宿題として各自で取り組ませ、授業では解答・解説をおこないました。なお、宿題の練習問題、模擬テストは、Web 上の答案ページに回答させました。講師は、各受講者の間違いの傾向を事前にある程度把握したうえで、解答・解説を行いました。学生からは「読解問題にだまされない方法を知った。」「模擬テストはどこが間違っているか、教えていただきよかった。」といった声が寄せられ

ました。

聴解対策では、問題の傾向を提示した上で、宿題として自宅で模擬問題に取り組み、授業で解答、解説を行いました。読解の宿題同様、模擬問題の解答は Web 上の答案ページに回答させました。学生からは「回答方法が良かったです。」という評価の一方で、聴解対策の実施が 2 回と少なかったこともあってか「聴解対策についてはもう少し練習したかった。」という声も聞かれました。

【使用テキスト】

『新にほんご 500 問 N1』(アスク出版)

『新完全マスター読解 日本語能力試験 N1』(スリーエーネットワーク)

『日本語能力試験 N1 模擬テスト 〈1〉』(スリーエーネットワーク)

『日本語能力試験 N1 模擬テスト 〈2〉』(スリーエーネットワーク)

『日本語能力試験 N1 模擬テスト 〈3〉』(スリーエーネットワーク)



【参加者アンケート】

回答者：15名

Q1. 本講座では、講師や他の参加者と交流できましたか。

大変よく交流できた	3人
交流できた	8人
普通	3人
あまり交流できなかった	1人
全く交流できなかった	0人

(留学生の意見・感想)

- ・一緒に勉強し、話すことができ、良い友人がたくさんできた。
- ・他の国の留学生と一緒に勉強することができた。
- ・様々な国の留学生と交流することができた。

Q2. 講座の満足度を教えてください。

大変満足した	4人
満足した	10人
普通	1人
やや不満	0人
不満	0人

(留学生の意見・感想)

- ・講師からたくさんのことを教わることができた。また、テキストも役に立った。
- ・講師が熱心に教えてくれた。また、他の受講者と交流できた。
- ・文法の勉強がとても役に立った。

Q3. その他意見、感想

- ・12月の日本語能力試験 N-1 を受験する。合格できるかどうかわからないが、この講座で学習したことを生かして頑張りたい。
- ・来年度も実施してほしい。
- ・自分は2年前に日本語能力試験 N-1 を合格しているが、時間が経つにつれて忘れてしまったことも多い。本講座は、忘れた知識を思い出させる契機となり、とても有意義な内容となった。

2. インターンシップの実施

①留学生地域交流事業『留学生インターン実習』

【実施日】平成28年9月4日（日）～5日（月）

【場 所】ホテルハマツ

【参加者】留学生 2名（ガーナ1名、中国1名）

【プログラム内容】

本プログラムは、留学生が2日間、ホテルでのインターンシップを行うもので、ホテルハマツの皆様にご協力いただき、開催されました。1日目はホテルで開催された宴会のスタッフ業務を行い、会場セッティング、ドリンクサービス、終了後の撤収作業などを行いました。2日目は、ホテルスタッフの営業業務に同行し、営業のノウハウについて学びました。途中、郡山市湖南町の布引山高原の風力発電を見学させていただきました。午後はホテルに戻り、日本文化体験として婚礼衣装の着付け体験を行いました。



【参加者の声】

・ コシラン（経済経営学類1年 中国）

9月4日、ホテルハマツにてインターンシップに参加しました。1日目は13時から宴会の手伝いをしました。ドリンクバーでコップの中に氷を入れる、オレンジジュースを入れるなど簡単な仕事でした。2日目の午前、担当者の佐藤さんと車で、風力発電を見に行ってきました。風力発電は想像以上に大きかったので、驚きでした。また、そこから磐梯山が見えました。数週間前、私は裏磐梯へ行ってきましたが、別の方向から磐梯山を見ることができて、とても嬉しかったです。午後は、結婚式の服を試着しました。私は、袴と洋服をきせてもらいました。とても素晴らしかったです。2日間、とても素晴らしいことを体験しました。ホテルの中にも、あんなに様々な楽しい仕事があることがわかりました。この体験を就職の時に生かしたいと思います。

【参加者アンケート】

回答者：2名

Q1. 本プログラムでは他の参加者やスタッフと交流できましたか。

大変よく交流できた	2人
交流できた	0人
普通	0人
あまり交流できなかった	0人
全く交流できなかった	0人

Q2. 本プログラムの満足度を教えてください。

大変満足した	2人
満足した	0人
普通	0人
やや不満	0人
不満	0人

Q3. その他意見、感想

- ・ とてもいい写真を撮っていただいた。感謝の心でいっぱいです。
- ・ **I think this kind of program should be frequently organized for students.**
(学生のために、このようなプログラムをもっと企画すべきだと思う。)

3. 地域住民との交流事業、福島其自然文化体験ツアーの実施

留学生と地域住民の相互理解と交流の促進、留学生の福島への理解の促進と愛着心の育成を目的として、地域住民と合同での料理教室「日本の料理を作ろう」、二本松市との交流事業「二本松菊人形観賞ツアー」、国際ソロプチミスト福島との交流事業「りんご狩りと日本文化体験ツアー」を開催しました。

①留学生地域交流事業「日本の料理を作ろう」

【実施日】平成28年7月2日（土）11時00分～14時00分

【場 所】福島大学国際交流会館

【講 師】日本語教室「ひなぎく」の皆様

【参加者】留学生18名、地域住民の方10名

（留学生の内訳）ベトナム9名、アメリカ4名、ドイツ2名、中国2名、ガーナ1名

【プログラム内容】

本プログラムは、福島市で活動している日本語教室「ひなぎく」の皆さんの協力の下、地域住民の方と留学生が合同で日本の料理を作りながら交流を深めることを目的に開催しました。料理教室に先立ち、まず、「ひなぎく」の皆さんより防災についての講義があり、参加者全員で聴講しました。その後、「ひなぎく」の皆さんの指導のもと、日本の伝統料理であるおでんとおにぎりを参加者全員で作成し、一緒にいただきました。おにぎりもおでんもコンビニ等で気軽に買えるため、留学生にとってもなじみの深い料理ですが、自分で作るのは初めてという学生がほとんどで、彼らにとっても貴重な体験となりました。留学生からは、「地域の皆さんが食材について詳しく教えてくれた。」「これからは自分でも作れそうだ。」、地域住民の皆さんからも「料理を通してお互いの文化を学ぶことができた。」「留学生と一緒にお話ができて良かった。」などの感想が寄せられました。





【参加学生の声】

・グエン ドック ドー（共生システム理工学類1年 ベトナム）

7月2日に、国際交流会館で市民の方々が先生となって料理教室が行われました。日本人の伝統的な食べ物（おにぎり・おでん）の作り方を教えていただきました。おにぎりを握りながら、東日本大震災が起こった時、おにぎりのおかげで市民たちが生き延びる事が出来た事を教えていただきました。自分で初めて握ったおにぎりなので、味に自信がなかったのですが、今まで一番おいしいと感じました。何度かおにぎりをコンビニで買って食べた事がありましたが、これほどおいしいとは思いませんでした。

自分で作ったおにぎり・温かいおでんや果物もあって、先生となった市民の皆さんといろいろとお話しが出来ました。美味しいお昼ごはんを食べながら、他国の留学生とも交流できて楽しい時間を過ごしました。このような機会をつくって下さった、市民の方々や、いろいろと準備の手配をいただいた国際交流センターの皆様には感謝します。また機会がありましたら、ぜひ参加したいです。

・ヴォ ティ テュ ハー（経済経営学類1年 ベトナム）

今回の日本料理教室は私にとって初めての交流経験でした。

料理を作るのは私の趣味ですが、もっぱらベトナム料理だけで、日本料理、韓国料理などは今まで作った事はありません。でも、私は特に、おにぎり、おでんをよくコンビニで買って食べているので、この日を楽しみにしていました。

今回の料理教室によって、おでんやおにぎりの作り方を勉強でき、自分で作る事ができるようになりました。これからは、食べたい時には、自分で食材を買い、友達、家族と一緒に作ろうと思います。そうすれば、お金もかからずに、皆さんと楽しい時間を過ごせると思います。また、地元の方々の話を聞いたことが色々と勉強になりました。東日本大震災の時の話を聞いて、おにぎりは

それほど大切になるということも理解できましたし、地震が起きてから、やらないといけないことも勉強できました。地元の皆様にお世話になり、誠にありがとうございます。ぜひ、機会があれば、また参加したいと思います。



【参加者アンケート】

回答者：26名（留学生18名、地域住民8名）

Q1. 料理教室では他の参加者と交流できましたか。

大変よく交流できた	15人
交流できた	10人
普通	0人
あまり交流できなかった	1人
全く交流できなかった	0人

(参加者の意見・感想)

- ・地域の方とコミュニケーションを取ることで、様々なことを知ることができた。

- ・他の留学生や日本人と出会うきっかけとなった。
- ・みんなで一緒に料理を作り、食べるのがとても楽しいと感じた。
- ・料理をするときの注意点や作り方について、日本人の方から教えてもらうことができた。
- ・留学生と一緒に料理をしたり、母国の食べ物の話をしたりと、とても有意義な時間を過ごすことができた。

Q2. 料理教室の満足度を教えてください。

大変満足した	16人
満足した	9人
普通	1人
やや不満	0人
不満	0人

(参加者の意見・感想)

- ・おにぎりもおでんもとても美味しかった。
- ・様々なことを勉強できた。
- ・手作り料理は美味しいと感じた。
- ・自分の手で作ったおにぎりはとても美味しかった。
- ・日本料理について、これから勉強したいと思った。

Q3. その他意見、感想

- ・料理教室を通しての日本人や留学生同士の交流をもっと企画してほしい。
- ・おにぎりやおでんの作り方について基礎から勉強できた。
- ・防災の話を聞き、将来ボランティアに積極的に参加したいと思った。
- ・1ヶ月に1回このようなイベントをやってほしい。
- ・おにぎりがとても美味しく、お腹がいっぱいになった。また参加したい。
- ・**I think this program should be organized more often. I have really enjoyed myself.** (このプログラムはもっと行われるべきだ。とても楽しむことができた。)
- ・**The food was great and the people are so kind!! Very fun!**
(食べ物は美味しく、また、みんなとても親切だ。とても楽しかった!)
- ・地域に住んでいる日本人にとって、留学生の皆さんと知り合う機会がなかなかない。時々このようなイベントがあるとお互いを知ることができる。
- ・日本の料理文化と災害を同時に学ぶことができ、勉強になった。

②二本松市、福島大学地域創造支援センターとの共同事業 「二本松菊人形観賞ツアー」

【実施日】平成28年11月3日（木）

【場 所】県立霞ヶ城公園（福島県二本松市）

【参加者】留学生8名、日本人チューター2名
（留学生の内訳）

中国4名、台湾1名、オーストラリア1名、ドイツ1名、ガーナ1名、

【プログラム内容】

本プログラムは、平成28年9月30日に福島大学と二本松市が相互協力協定を締結したことを受け、本学の地域創造支援センターと共同で実施しました。プログラムを実施するにあたり、事前に二本松市から無料の観覧券の提供がありました。また、当日は二本松市職員の方が会場までのバス送迎をしてくださった他、菊人形祭会場や二本松市について説明をいただきました。さらに、地域創造支援センターからは、二本松駅から金谷川駅までのJR乗車券の提供がありました。

実施当日は天候にも恵まれ、秋晴れの「ほんとうの空」に色とりどりの菊の花がとても良く映えて、参加した留学生たちも日本一の規模で開催されている菊人形祭を観覧でき、とても充実した時間を過ごした様子でした。中でも、国内外で活躍した日本の偉人が、菊人形として表現された菊人形ゾーンでは、展示案内も中国語・韓国語・英語で表示されていたため、人物や歴史についても学ぶことができ、「勉強になった。」という感想も聞かれました。

また、菊人形祭と同時期に二本松市内の各所で「福島現代美術ビエンナーレ」が開催されていて、作品の一つであるフローラ像も菊人形祭会場に展示されていました。巨大アート作品のフローラ像は、会場中心の池に座っているように展示されていて、一日2回だけ目覚めて立ち上がるという仕掛けになっており、タイミング良く目覚めの瞬間を鑑賞できたことも、留学生たちには印象に残った様子でした。

菊人形観覧後は、参加者同士で交流しながら、会場となった霞ヶ城公園内を散策しました。本丸跡までの遊歩道の途中、ちょうど色づき始めた紅葉や、回遊庭園の池や滝などを眺めることができたため、風情ある日本庭園も満喫できました。本丸跡へ到着すると、頂上からは安達太良山と二本松市街が一望でき、「景色がとても美しかった。」「登るのが疲れたけど楽しかった。」という感想が寄せられました。

二時間半ほど菊人形祭と霞ヶ城公園で過ごした後、午後は二本松市街を自由に散策しました。市内の散策マップを参考に、地元のレストランでお昼を食べ

たり、他の施設で展示されているビエンナーレを鑑賞したり、各人思い思いに市街散策を楽しみました。



【参加学生の声】

・キム ロセ（経済経営学類特別聴講生 ドイツ）

I can definitely recommend the Chrysanthemum tour held at the Kasumigajo Park! It was very overwhelming to see the arrangement of the flowers to big sculptures or attached as clothes at mannequins representing important Japanese persons. You can only guess what kind of hard work and precision is behind all these artistic craftworks. Together with the autumn leaves of the Kasumigajo Park it was more than worth to visit it! Especially the giant flower girl statue which stood up to Kyary Pamyu Pamyu's music was very lovely! After that the music echoed through my ears all day long and I couldn't resist to be in a happy mood.

（霞ヶ城公園で開催されている菊人形は、とてもお薦めできるイベントです。大きな彫刻に花を並べたり、日本の偉人の人形の洋服を花で着飾ったりする様

子は非常に素晴らしかったです。この素晴らしい芸術品を生み出した背景には、どんなにたくさんのハードワークがあったのか考えてしまいました。霞ヶ城公園の紅葉とともに、訪れる価値のあるイベントです。特に、きゃりーぱみゅぱみゅの音楽に合わせて立ち上がった、花で覆われた大きな少女の人形はとても素敵でした。その後、音楽は1日中私の耳に残り、ずっと幸せな気分になることができました。)

・王 映昆 (人間発達文化学類特別聴講生 中国)

11月3日、留学生の私達は菊人形を見るために、二本松へ出かけました。バラエティーに富む菊の花が満開でした。会場の中に微かな花の匂いが漂っていて清々しい気分になりました。一番こころに残ったのはその菊人形です。巧みに菊を編んでいて全体的に見れば、まるで生きている人のように見えます。すごく感動しました。中国河北省出身の私は日本へ来て、本当の日本の自然風景に魅せられました。日本の美しい大自然が好きです。

【参加者アンケート】

回答者：10名 (留学生8名、日本人チューター2名)

Q1. 本プログラムでは他の参加者と交流できましたか。

大変よく交流できた	7人
交流できた	2人
普通	0人
あまり交流できなかった	1人
全く交流できなかった	0人

(参加者の意見・感想)

- ・菊人形や景色を一緒に見ながら、交流することができた。
- ・二本松市の方が、歴史や遺跡、エピソードなどたくさんのことを教えてくれました。



Q2. 本プログラムの満足度を教えてください。

大変満足した	7人
満足した	3人
普通	0人
やや不満	0人
不満	0人

(参加者の意見・感想)

- ・菊人形と頂上からの眺めをみんなで楽しむことができた。
- ・景色がとても素晴らしかった。
- ・写真もたくさん撮ることができた。自由時間もあったため、自分のプランで観光することができた。

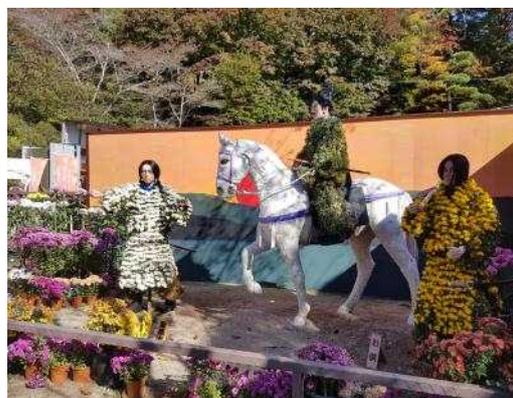
Q3. その他意見・感想

- ・二本松城跡への山登りがとても楽しかった。市街地の全貌を眺望できて、行った甲斐があった。
- ・会場では様々な花のにおいが漂っていて気分が良かった。空気も新鮮で景色も良く、日本の自然が大好きになった。
- ・とても楽しく、自分にとっても学習になる経験だった。また、いろいろ解説を求められるなど留学生の役に立つことができうれしかった。
- ・It was very impressive to see the arrangement of the flowers. It was overwhelming.

(花の並びがとても印象的で圧倒されてしまった。)

- ・I think it is a well organized event, but the explanations should also be translated in English for foreigners.

(とてもよく企画されたイベントだが、外国人のために説明文も英語に訳されるべきだと感じた。)



③国際ソロプチミスト福島との共同事業

「りんご狩りと日本文化体験ツアー」

【実施日】平成28年11月19日（土）11時00分～14時30分

【場 所】せいの果樹園（りんご狩り）、金剛院（茶道、着物着付け、踊り）

【参加者】留学生23名、国際ソロプチミスト福島関係者16名

（留学生の内訳）

中国13名、ベトナム5名、ドイツ2名、ブラジル1名、オーストラリア1名、ロシア1名

【プログラム内容】

本プログラムは、国際ソロプチミスト福島の皆さんと共同で、留学生に福島の自然や文化を体験してもらうことで、福島についてより深く理解し、愛着を抱かせることを目的に開催しました。福島市飯坂町にある曹洞宗の寺院・金剛院で国際ソロプチミスト福島の皆さんと合流し、せいの果樹園に徒歩で向かいました。せいの果樹園では、まず園主の方にりんご狩りについて説明していただき、その後、全員でりんご狩りを行いました。あいにくの雨交じりの天気でしたが、ほとんどの留学生が初めての体験ということで十分に楽しむことができました。なお、収穫したりんごはせいの果樹園さんのご好意により持ち帰ることができました。

次に再び金剛院へ戻り、ソロプチミスト福島の皆さん手作りの豚汁やおにぎり、福島の郷土料理であるいか人参などを全員でいただきました。昼食後は留学生全員が浴衣を着て、茶道体験、そして福島の郷土芸能である「福島わらじ音頭」を踊りました。

参加学生の半数以上は今年になってから福島に来た学生ということもあり、本プログラムを通じて福島の文化について理解を深めることができました。



【参加者アンケート】

回答者：23名（留学生のみ）

Q1. 本プログラムでは他の参加者と交流できましたか。

大変よく交流できた	5人
交流できた	17人
普通	0人
あまり交流できなかった	1人
全く交流できなかった	0人

（留学生の意見）

- ・浴衣を着て一緒に写真撮影をするなどし、仲良くなることができました。
- ・他の国の留学生と話したり、写真を一緒に撮ったりできた。
- ・ソロプチミストの皆さんとも交流できて良かった。
- ・各国の留学生やソロプチミストの皆さんと交流することで、自分の言語力レベルを上げることができた。
- ・昨年に引き続き参加したが、顔を覚えられていて恥ずかしかった。
- ・みんなで活動すると共通の話題が増えて良かった。
- ・みんなと一緒に浴衣を着たり、りんごを食べたり、茶道を体験できたりと、交流できた。

Q2. 本プログラムの満足度を教えてください。

大変満足した	18人
満足した	5人
普通	0人
やや不満	0人
不満	0人

（留学生の意見）

- ・りんごがとても美味しかった。
- ・浴衣を着て茶道体験ができ、とても嬉しかった。
- ・自分でりんごを取るのは初めてで楽しかった。そして、美しい着物を着て、茶道体験や踊りを行うことができ、とても嬉しかった。
- ・りんごが甘く美味しかった。かわいい浴衣も着ることができ、大変満足した。
- ・おいしいりんごをいただき、おいしいご飯を食べ、美しい浴衣を着ることができ、本当に貴重な体験になった。

- ・私にとって未体験の踊りはとても魅力的だった。浴衣の着付けも忘れられない体験になった。
- ・日本の伝統文化を、身をもって体験することができた。
- ・りんごがとても美味しいし、浴衣も綺麗だった。



Q3. その他意見・感想

- ・初めて茶道を体験した。日本の文化は美しいと感じた。もっといろいろな体験をしたい。
- ・浴衣を着せていただき、茶道を勉強させていただいた。本当にいい経験だった。
- ・日本文化を学ぶことができよかった。
- ・特に茶道が良かった。心が清められた感じがする。
- ・りんごを自分で取るのはとても楽しかった。
- ・お寺は厳かな雰囲気が出ている。このような雰囲気の中で、美しい着物を着て茶道を体験することができ、とても素晴らしいと感じた。
- ・天気があまり良くなかったけど、忘れがたい1日になった。日本伝統の魅力を深く感じた。

- りんご狩りが楽しかった。こんなに大きなりんごを見たのは初めてだ。とてもいいイベントだった。
- 最後、みんなで一緒に踊ったのはいい思い出になった。また、日本のお寺の静けさや庭園の美しさを満喫できた。
- りんごがとてもおいしく、豚汁も美味しかった。浴衣もきれいで、素晴らしい。来年もまた参加したい。
- 自分でりんごを取るの初めてで、しかも取ったりんごを持ち帰ることができ、とてもうれしかった。
- **It was a really nice touch to let everyone try a kimono. Because it rained it was hard to get any good pictures but it was still a day to remember.**
(みんなで着物を着たのは本当に良かった。雨が降ったため、いい写真を撮るのは難しかったが、忘れられない1日になった。)
- **It was very fun to pick the apples and the lunch afterwards. Also wearing the yukata and the tea ceremony!**
(りんご狩りとその後の昼食がとても楽しかった。また、浴衣着付けや茶道も楽しかった。)
- **It was very interesting. Very well organized. It was fun to wear kimono and make green tea. The women who were organizing the event were too kind. They really input their soul in preparation. I appreciate their warmth and kindness! The lunch was well delicious too.**
(とても面白かった。素晴らしい企画のイベントです。着物着付けと茶道が楽しかった。このイベントを企画された女性の皆さんはとても優しくかった。彼女たちは本当に気合いを入れて準備してくれた。私は彼女たちの温かさと優しさに感謝している。また、昼食もとてもおいしかった。)



Ⅲ. あとがき

本事業は、普段はほとんど接する機会のない留学生と地域社会との間を結び付けることで、留学生と地域社会双方の相互理解と信頼関係を促進させ、最終的には留学生が在学中のみならず、卒業後も福島の発展に貢献できる環境が醸成されることを目的に実施しました。

まず、就職支援に関する取り組みについて、留学生の間で起業に対するニーズもあったことから、第1回セミナーでは、外国人の起業に携わった経験のある本学OBや、福島で起業した本学留学生OBを講師に招き、起業するにあたっての基礎知識等の講義、第2回セミナーでは日本に残っての就職を希望している学生向けに、就職活動を経験し、県内企業からも内定を得た現4年生による講義を行いました。加えて、ほとんどの会社で必須条件となっている日本語能力試験1級（N-1）の取得に向けた講座を開催しました。また、留学生と地元企業の双方の理解促進を目的に、地元企業でのインターンシップを開催しました。そして、地域住民の皆様との交流と留学生に福島の魅力を発見・認識させることを目的に、料理教室や二本松菊人形観賞ツアー、りんご狩りと日本文化体験ツアーといった取り組みを実施し、福島の自然や文化について体験してもらいました。

本事業には延べ73人の留学生が参加しました。アンケート調査では、地域の皆様と交流できたと回答した留学生が9割以上にのぼり、また、どのプログラムにおいても留学生にとっては満足度の高いものとなりました。特に、「二本松菊人形観賞ツアー」での紅葉の二本松城跡からの絶景や「りんご狩りと日本文化体験ツアー」での美味しいりんごは、参加留学生に非常に好評であり、福島が世界に誇れる魅力なのだとして私たちスタッフも再認識いたしました。さらには、留学生と交流した地域の皆様にとっても、本プログラムは本学の留学生について詳しく知る絶好の機会になったかと思われます。

そのような結果から、留学生と地域社会を結びつけるきっかけの場を作るといふ本事業の目的は、概ね達成されたと判断できるのではないのでしょうか。あとは本事業の最終目標である「留学生が卒業後も福島の発展に貢献できる環境の醸成」を実現するためにも、次年度以降も継続してプログラムを実施していく必要があります。

最後になりましたが、本事業の実施にあたり、ご支援いただいた公益財団法人中島記念国際交流財団様ほか、各プログラムの開催にあたりご支援・ご協力いただいた皆様方には、厚く御礼申し上げます。

Ⅳ. 本事業の実施にあたり、ご協力いただいた皆様（敬称略）

①留学生就職セミナー

- ・福島駅西口インキュベーションルーム・インキュベーションマネージャー 相馬 由寛
- ・(株)ダブルホーク代表取締役 王 伊鵬
- ・張 天一
- ・ヴ クアン ジューフン

②留学生インターンシップ

- ・(株)ホテルハマツ

③留学生地域交流事業『日本の料理を作ろう』

- ・日本語教室ひなぎく

④二本松市、福島大学地域創造支援センターとの共同事業

『二本松菊人形観賞ツアー』

- ・二本松市総務部企画財政課

⑤国際ソロプチミスト福島との共同事業『りんご狩りと日本文化体験ツアー』

- ・国際ソロプチミスト福島
- ・せいの果樹園
- ・金剛院



V. マスコミ記事掲載一覧

①留学生地域交流事業『日本の料理を作ろう』

- ・福島民友新聞 平成28年7月3日(日)
「留学生、日本料理に挑戦」
- ・福島民報新聞 平成28年7月4日(月)
「留学生 おにぎり作る。福大生と住民ら交流」
- ・文教速報8311号 平成28年7月20日(水)
「留学生と地域住民が交流 福島大で『日本の料理を作ろう』」

②二本松市、福島大学地域創造支援センターとの共同事業

『二本松菊人形観賞ツアー』

- ・福島民友新聞 平成28年11月5日(土)
「留学生が菊人形観賞 二本松 本県文化、観光楽しむ」

③国際ソロプチミスト福島との共同事業『りんご狩りと日本文化体験ツアー』

- ・福島民友新聞 平成28年11月20日(日)
「留学生が文化体験 23人浴衣で茶道」
- ・福島民報新聞 平成28年11月21日(月)
「留学生がりんご狩り 国際ソロプチミスト福島など ツアーで体験」



「公益財団法人中島記念国際交流財団助成」(独) 日本学生支援機構実施留学生地域交流事業
留学生の地域社会ネットワーク構築プログラム in ふくしま
実施報告書

2017年1月

編集・発行 福島大学国際交流センター



国立大学法人

福島大学

Fukushima University